

私のおすすめスポット

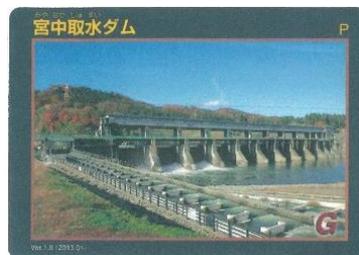
会員 井口 公【(株)森下組勤務】

私は、友の会の皆様にダム巡りの楽しさを紹介します。今、ダムは大きな観光スポットとなっています。今春【矢木沢ダム】の観光放流で「ダムカード」を頂いたことから、夫婦で休日のダム巡りが始まりました。

まずは「ダムカード」が配布されているダムを探しルート検索をします。【月山ダム】のように国道112号(月山道路)に隣接しているダムは少なく、多くのダムは山奥にあります。車の燃料は満タンで雨具、飲料水、非常食、虫よけスプレー等の準備が必須です。登山をするわけではありませんが、それなりの服装で行くことをお勧めします。現地では「熊」出没等の看板があることもありました。猿のお出迎え、鹿のお見送りには感動しました。動物には食べ物を与えないことも必須です。ダムに行ったら、最初にダム名が刻まれた名盤と一緒に写真を撮ります。(カード配布場所がダムサイトではない事があり証明写真も兼ねます)天端を歩きながら雄大な景色を眺めるのです。資料館でダムの重要性に触れ「ダムカード」を頂きます。「ダムカード」の裏面にはダム形式、諸元等が記載されています。(G式、A式、R式、HG式・・・)国立公園内であれば、ゲートの色に制限もあろうかとは思いますが、国立公園外のゲートについては赤、緑、青等がありました。どこのダムも美しい。ダムフェスティバルや地元の食堂などで販売しているダムカレー(ご飯がダム本体、カレーのルーはダム湖を表現、トッピングもゆで卵の半分をボートに見立てた等)はとても美味しい。

信濃川上流域では、平成28年度選奨土木遺産に登録された、信濃川千手水力発電所施設群【宮中取水ダム他】での一連の電力は電車運転用に供給されています。【三国川ダム】においては、関東圏からの観光客も多く、「しゃくなげ湖」も美しい。監査廊で見た水の勢いは言葉にできない驚きでした。

最近では「ダムカード」ばかりではなく「堰・水門カード(北陸地整)」、「SABOカード(立山砂防)」、「文化遺産カード(新潟県内)」などもあります。竹村公太郎著「水力発電が日本を救う」の中では砂防ダムに小水力発電が可能とありました。地域の利益と観光が絡み合っ



宮中取水ダムカード

て多くの観光スポットができたら嬉しいです。湯沢町の大源太川第1号砂防堰堤補強工事(工事中であっても大源太湖畔等の散策はできます)が進み、今以上の観光スポットとなり、新たに「SABOカード」が配布されると、大喜びです。

皆様も春の新緑・夏の涼・秋の紅葉と「ダムカード」を求めて、ダム巡りを計画されてはいかがでしょうか。



紅葉の映える大源太湖
出典：湯沢砂防事務所



「水力発電が日本を救う」
竹村公太郎著

一魚の目線で川を見る 子供勉強会— 水辺の生き物観察会

日時：平成28年8月11日(木・祝) 9:00~12:00
場所：体験水路(大河津分水公園内) 参加者：子供10名
主催：NPO法人水環境技術研究会
共催：NPO法人信濃川大河津資料館友の会 (事業部)

当日は曇り空で蒸し暑く熱中症など心配しましたが、無事に勉強会を終えることができました。子供たちはジャブジャブと気持ちよさそうに川に入り、魚を捕まえようと真剣でした。楽しんでもらえたようで嬉しいです。



県内河川探訪 ～秘境八十里越と五十嵐川の災害復旧～

日時：平成28年9月6日(火)9：30～17：00 参加者：27名
 場所：八十里越道路事業/五十嵐川災害復旧助成事業笠堀ダム高
 上げ工事(三条市笠堀地先)/多自然型川づくり(パーブ
 工)箇所三条市庭月地先)/遊水地工事(三条市月岡地先)
 台風の影響で中止になるか延期になるかヒヤヒヤしましたが
 予定通り行くことができ一安心。担当職員の方から現在の工事
 状況と現場を案内していただき、普段ではなかなか聞くことが
 できないお話をお聞きしました。特別な河川探訪となり皆さん
 喜んでいただけたようです。次回はどこになるか楽しみに。
 まだ、参加したことない方もぜひご参加ください。(事業部)



第3回ガイド研修 ～糸魚川ジオパーク～

日時：平成28年10月1日(土)8：00～18：40
 場所：フォッサマグナミュージアム/フォッサ
 マグナパーク/高浪の池/小滝川ヒスイ峡
 参加者：26名 (事務局・支援部)
 見学地へはガイドの方同行で巡り(断層まで
 行ってきました!)地球の誕生の歴史を直に触
 れ、見て学びました。ガイドの方にはわかりや
 しく説明していただき、知識の深さとジオパ
 ークを広く知ってもらいたいという熱意を感じま
 した。館内だけでなく屋外の見学場所での丁寧
 な案内の仕方はとても参考になりました。

↓フォッサマグナミュージアム 地球
 の歴史を学びました。



←断層露頭 断層を境に左側は西日本
 の地質。右側は東日本の地質。

大盛況だったサケまつり

日時：平成28年10月15日(土)11：30～
 場所：信濃川大河津分水資料館前 参加者：150名
 気持ち良い青空のもと、いい匂いに誘われ大勢のお客さ
 さんがサケまつりに来てくれました。真心込めて作ったサケ
 汁と塩むすび、スタッフお手製のお漬物、どれも最高でし
 ました。信濃川の恵みに感謝し、地域の多くの方に親しまれて
 た『サケまつり』ですが、残念ながら今年で最後となりま
 す。ご協力いただきました魚沼漁協分水支部の中山さん、
 朝早くから準備してお手伝いをいただいたスタッフの皆さん
 に感謝、感謝です。なんだか寂しくなりますが、来年はサ
 ケまつりに代わるイベント企画しますので、楽しみに！
 (事業部)

↓野菜たっぷりのサケ汁。
 ピカピカの塩むすびとス
 タッフお手製のお漬物。



↑小さなお子さんからお年寄
 りの方まで皆さん「美味し
 い！」と喜んでもらえました。

第2回信濃川教養講座 『押し花でしおり作り』

日時：平成28年10月15日(土)
 14：00～16：00
 場所：信濃川大河津分水資料館
 2F多目的ホール
 参加者：10名 (事業部)



サケまつり後に開催した今回の講座は第1回信濃川
 教養講座で作った押し花を利用して、しおりを作成し
 ました。講師は前回と同じく田辺加代子さんをお迎え
 し、押し花を使った様々なアレンジ方法を教えていた
 だき、参加された方からは、意外に簡単に作ることが
 できて楽しかったと、ご好評をいただきました。



※『理事長だより～典生のつづやき～』はお休みとさ
 せていただきます<(_ _)> 次号楽しみに。

大河津分水講演会2016- I ～横田切れを振り返って、洪水の危険性を知る～

プログラム

- ①「あらためて、横田切れを振り返る」樋口理事 (45分)
- ②「信濃川の洪水 江戸、明治期以来をたどり、将来を考える」早川理事長 (30分)
- ③「2015年の鬼怒川の大水害から信濃川下流域に暮らす我々が学ぶこと」新潟大学 准教授 安田浩保 氏(45分)
- ④「大河津分水路の改修事業の概要」信濃川河川事務所 計画課長 南健二 氏 (15分)

今年2回行う講演会の1回目を11月13日(日)燕市の分水公民館で行いました。4名の講師をお迎えして、横田切れがどのように起こったのか、また身近な河川を含めて洪水の起こる危険性、その恐ろしさと身を守るすべを学ぶとともに、大河津分水によって地域の安全がどう図られているか、お聞きしました。

横田切れ120年の赤いのぼり旗を持った樋口理事を先頭に早川理事長が颯爽と入場して始まった講演会。当日は地元の方たちもたくさん来てくださり、約300名の方が熱心に耳を傾けていました。最後に行われた総合討論では活発な意見が交わされ、大変実のある講演会となったことと思います。(事業部)



↓信濃川河川事務所
計画課長 南健二 氏



↑樋口勲 理事



↓早川典生 理事長



↑新潟大学准教授 安田浩保 氏



友の会通信

新潟県立歴史博物館友の会

新潟県立歴史博物館友の会 会長 鈴木重吉

平素は県内博物館友の会連携事業で大変お世話になっております事に感謝申し上げます。

昨年秋は貴会様主幹による「友の会ミーティング」に参加させていただき、資料館の展示並びに可動堰の視察など、大河津資料館ならではの企画を拝見させていただき、改めて先人の偉大さに思いをはせながら、自然災害の脅威を再認識いたしました。

また屋外では、ボランティアの皆様方の心温まるおもてなしで、鮭料理、コシヒカリのおにぎりを堪能させていただき、至福のひと時を堪能させていただきました。

そして、最後のメは友の会の皆様との懇親の席で盃を重ね、より親交を深めることが出来ました事は、とても良い思い出になりました。重ねて厚く御礼を申し上げます。

さて、新潟県立歴史博物館は我が国でも有数の歴史博物館といわれており、国内最大級の縄文展示をはじめ、歴史・民俗資料の実物大展示や様々な企画・特別展など、非常に面白く、興味深い内容となっております。私たちは館の運営を支援すると共に会員相互の親睦を目的に様々な活動を行っております。

紙面をお借りして、友の会の主な活動を紹介させていただきます。

今年で13回を数える主催企画「マイ・コレクション・ワールド」は、友の会の定番企画として定着しており、多くのマイ・コレ・ファンに親しまれております。

日頃から館の学芸員さん達との交流も活発に行われ、年2回の研修旅行や会員の集いでは、家族的雰囲気でも和気あいあいの中で、実のある研修をさせて頂いております。

又、6月から7月にかけては、ながおか田中長嶺事績顕彰会との共同開催で、明治期の日本に於いて世界初の椎茸人工栽培を考案し、高効率の炭焼き釜の普及に力を尽くし、山間地農業を救済した、長岡市出身の「田中長嶺展」を開催し、多くの皆様にご来館いただきました。更には、土器づくり同好会や賽の神実行委員会、関係市民団体とも連携を深めながら活動を進めております。皆様方からのご参加も大歓迎です。

それぞれの友の会の活動は違っていても、活動を通じて会員相互の親睦と個々のライフワーク充実の意欲は共通していると思います。これからも様々な場面で連携して行こうではありませんか。貴会様のますますのご発展を心からご祈念申し上げます。

河川文化講演会 『早川理事長による宮本武之輔 講演会』

11月29日(火)から信濃川大河津資料館2Fで行われる特別展『宮本武之輔 未公開資料展』にあわせて早川理事長による宮本武之輔についての講演会を開催します。ご希望の方は事務局までご連絡ください。定員になりましたら締切りとさせていただきます。(事業部)

日時：平成28年12月17日(土)15：45～17：00 場所：大河津資料館3Fライブラリー
定員：30名程度 参加費：無料

★講演会後は忘年会(17：15～19：15)を開催します。定員30名程度 会費4,000円 会場は燕市分水新町の小川屋で行う予定です。ご参加される方は事務局までご連絡ください。

皆さんの得意なものありませんか？

来年の2・3月は『友の会作品展』と『友の会文化祭』を開催します。そこで、作品を出品していただける方や特技を披露していただける方を大募集しています！

◇作品展(2～3月)・・・絵画、習字、切り絵、手芸、写真、工作
フラワーアレンジメント etc

◇文化祭(3月)・・・楽器演奏・歌 etc

なんでもOKです！自薦他薦は問いません。どなたでもご参加いただけます。こんなのもいいのかな・・・？疑問に思うことがありましたら、お気軽に事務局までお問い合わせください。皆様のご応募お待ちしております！なお、作品展・文化祭の開催日等の詳しい内容は次号たよりにてお知らせします。ご連絡は事務局までお願いします。(事業部)



(例) 斉藤久美さんが作った卵の殻のお雛様

信濃川大河津資料館からのお知らせ

特別展

宮本武之輔
未公開資料展

期間：平成28年11月29日(火)～
平成29年1月29日(日)

会場：信濃川大河津資料館2F

今回開催する特別展は宮本武之輔の貴重な資料を期間限定で展示します。この資料はご子息の宮本信さんから友の会へ寄託いただいたもので、武之輔さんの人柄などをうかがい知ることができる、とても貴重なものばかりです。なかなか見ることのできない展示になっていますので、たくさんの方にぜひご覧いただきたいです。皆様のご来館お待ちしております。

しなのがわクイズ

スタンプを集めて表彰状をもらおう♪

資料館内に3台ある『しなのがわクイズ』を全問正解するごとにスタンプがもらえ、一定数のスタンプを集めた方には信濃川河川事務所より表彰状が送られます。期間は平成28年11月23日(水)～平成29年11月22日(水)の1年間です。どなたでもご参加いただけます。



す。ゴールドカード目指して挑戦してみませんか？

⇐右からブロンズ・シルバー・ゴールドカード

＜＜編集後記＞＞

◆友の会通信は今回で最終回となります。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。◆秋に行っていた資料館周辺の庭木の剪定はプランターの整備のみとなりました。今号のご報告は省略させていただきます。◆11月中発行を予定していましたが、遅れてしまい12月になってしまいました。申し訳ありません。(E)

＜事務局連絡先＞

〒959-0123 燕市大川津1215-7
TEL 090-2673-6596 (事務局長)
080-9876-3683 (事務局)
FAX 0256-97-3682
e-mail ohkouzu_tomonokai@yahoo.co.jp
https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/